

伊達政宗画像

資料紹介

伊達政宗(1567~1636)を描いたこの絵は、延宝4年(1676)、先祖供養のために建てた^{まつりどう}祀堂に掲げる目的でつくられたと考えられています。作者の狩野安信(1613~85)は、幕府のおかかえ絵師でした。

1. この絵は、ほぼ等身大に描かれています。絵は、どれくらいの大きさでしょうか？ア~ウのどれかに○をつけましょう。

- ア たて50cmくらい × よこ40cmくらい
- イ たて1mくらい × よこ80cmくらい
- ウ たて1m50cmくらい × よこ1mくらい

2. この絵は何に描かれていると思いますか？展示室の絵を見て、ア~ウのどれかに○をつけましょう。

- ア ^{わし}和紙
- イ ^{きぬ}絹
- ウ ^{あさ}麻

※ア~ウの素材はプレイミュージアムで手に触れることができます。



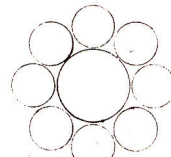
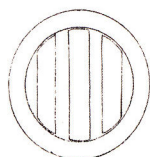
3. 政宗の顔をよく見てみましょう。幼年時代に失明したはずの右目が描かれています。なぜでしょうか？

4. この絵には伊達家の家紋が描かれています。展示された絵の中から見つけ出し、ア~ウのどれかに○をつけましょう。

ア ^{みつひきりょうもん}三引両紋

イ ^{たけ すずめもん}竹に雀紋

ウ ^{くようもん}九曜紋



5. 絵の左上には、晩年の政宗による自作の漢詩があります。展示された絵にある詩をよく見て、下の訳文の[a]~[c]に語句を入れましょう。

[a]にまたがって(戦場をかけめぐって)少年時代が過ぎた。戦乱の世から平和な時代へと移り、気づくと私も[b]が多くなった(歳をとった)。
[c]にゆるされ、今日まで生き抜くことができたのだから、残りの人生を楽しみたいものだ。